NEWS RELEASE

平成 28 年 12 月 9 日

報道関係各位

東京建物株式会社
太陽工業株式会社

Shin-toyosu Brillia Running Stadium
「新豊洲 Brillia ランニングスタジアム」
１２月１０日（土）オープン

～障がい者スポーツ支援に貢献、高機能膜材ＥＴＦＥフィルムを大規模に採用した国内初施設～

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：佐久間 一）は、ネーミングライツを取得した「新豊洲 Brillia ランニングスタジアム」が 12 月 10 日にオープンすることを、施設建築主の太陽工業株式会社(大阪本社：大阪市淀川区　東京本社：東京都世田谷区、代表取締役会長兼社長：能村光太郎)と共に、お知らせします。

【新豊洲 Brillia ランニングスタジアムについて】

本施設は、社会貢献活動として平成 27 年 8 月から公益財団法人日本障がい者スポーツ協会（JPSA）のオフィシャルパートナーを務めている東京建物が、創業 120 周年の記念事業として参画したプロジェクトです。「支援・応援するだけではなく、より多くの人々、あらゆる人種の方々、さらに、健常者や障がい者といった垣根を越え、一体感を生み出し、喜びを共にする。」 という本施設の願いに共感し、ネーミングライツという形での支援を決定いたしました。

本施設は「新豊洲 Brillia ランニングスタジアム」という施設名の通り「ランニング」に特化したスタジアムとなります。全天候型 60 メートル陸上トラックをメインの空間とし、一部義足の研究施設が併設される傍ら、ランニングステーションとして地域のランナーに開放されます。

館長には、元陸上選手の為末大さんを迎え、今後 SPORTS×ART 新豊洲※1 の拠点となるこの「新豊洲 Brillia ランニングスタジアム」。我々はこの施設が、アスリート支援の一助となり、ハードだけでなくソフト（＝心）のバリアフリーを促進する場となることを期待します。

【建築的側面からみた新豊洲 Brillia ランニングスタジアム】

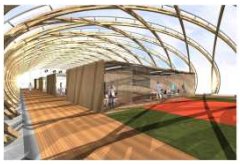
「新豊洲 Brillia ランニングスタジアム」は、五輪やサッカーW杯など、世界最先端のスポーツ施設に利用されている高機能フッ素樹脂膜材「ETFE フィルム」を日本ではじめて大規模に採用した施設です。「ETFE フィルム」は、厚さ 250 ミクロン、重さ 440ｇ/㎡と非常に軽くて薄い素材ながら、20 年以上の高い耐久性を備え、紫外線による白濁も少ないことが大きな特長となります。本施設では、「ETFE フィルム」を二重に張り、内部に空気を送り込みピロー状に膨らませる「クッション形式」を採用、複層ガラスと同等の断熱性と、梁の無い状態で 2mスパンの距離をとばせるようにしました。膜表面にはドット状のプリントを施し、透過率約 35%にすることで、室内温度を外気温+3℃程度に抑える工夫も行っています。

その他にも、メインフレームは国産カラ松の湾曲集成材を使用、先導性が高い木造建築プロジェクトを補助対象とする国土交通省の「サステナブル建築物先導事業（木造先導）」事業にも採択されました。太陽工業は、建築事業主として「ETFE フィルム」をいち早くを導入する事で、ガラスのような透明感とフィルム特有の軽量性や柔軟性を通じて、安全かつ開放的な空間をアスリートに提供したいと考えています。

【施設内容】

【全天候型 60 メートル陸上トラック】
全天候型施設内のトラックには、国際協議会にも多数採用されているモンド社の「スーパーX」を６レーン分採用。TRAC による かけっこスクールが開講されるほか個人のアスリートも 利用できる。（有料）

【競技用義足開発ラボラトリー】
隣接するオフィス棟には、Xiborg 社が競技用義足開発のためのデータ解析や工作作業などを行う研究所が開設される。「全ての人に動く喜びを」感じられるような社会を創造していくことを目指す。



【ランニングステーション】
完全ユニバーサルデザイン型施設として、車椅子のままで使用可能なミストサウナ付きシャワールームとユニバーサルデザイントイレが完備。一般のランナーも利用できる。（有料）

新豊洲 Brillia ランニングスタジアム館長

為末大（ためすえだい）
元プロ陸上選手
（株式会社侍・TRAC 代表）

※1「SPORT×ART 新豊洲」
東京ガス用地開発株式会社が取り組む、22 世紀に引き継ぐ水と緑に包まれたスマートシティプロジェクト「TOYOSU22」で展開する新豊洲の街・コミュニティづくりのための活動テーマです。健全な都市生活において身体と精神の充実は欠かせない要素であり、この活動テーマのもと、新豊洲は「心と身体の両面から考えるコミュニティ」を目指します。新豊洲エリアの都市環境を活かし市民にひらかれたスポーツコミュニティを指向するとともに、デザインやテクノロジー、食などの生活文化までを含む、アートを広義に捉えたライフスタイルを発信します。

【施設内での活動】

●TRAC

為末大が代表を務める、株式会社侍が運営するかけっこスクール≪TRAC≫を開校。定期教室の開催とかけっこ関連イベントを行う。
WEB サイト：http://trac.tokyo/school

●Xiborg　Lab

パラアスリートがより速く走るためのトレーニングと、高品質な義足の開発に必要なデータの収集、さらにはそのデータに基づいた競技用義足の研究・開発を行う。
WEB サイト：http://xiborg.jp/

●SLOW LABEL

障がいのあるなしを越え、それぞれの特徴を活かしあう身体表現（パフォーミングアーツ）活動、また障がいのあるダンサーやパフォーマー、その活動をサポートする専門家のトレーニングを展開する。
WEB サイト：http://www.slowlabel.info/project/movement/

【施設概要】

名称：新豊洲 Brillia ランニングスタジアム
所在地：東京都江東区豊洲 6-4-2
敷地面積：4,845 ㎡
建築面積：1,746.32 ㎡
最高高さ：8.5m
施設全長：109.3m
施設用途：スポーツ練習場
構造：RC 造、木造、S 造
施設構成：60m×6 レーンランニングトラック、義足調整室、シャワー室、更衣室
建築主：太陽工業株式会社
建築設計：武松幸治＋E.P.A 環境変換装置建築研究所（1991 年設立。2009 年より日本初の耐火集成材による大規模商業施設を開発、実現させる。2015 年 不燃化技術組合を設立し、都市の木造化に取り組んでいる。）
構造設計：株式会社 KAP
施工：中央建設株式会社・太陽工業株式会社

以　上